



村高マスコットキャラクター

香美町集落ガイドブック vol.3

- 【発行日】 2020（令和2）年3月23日 初版
 【発行】 兵庫県立村岡高等学校
 〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡 2931
 ☎0796-94-0201
 【監修】 鳥取大学地域学部
 【協力】 射添地区のみなさん / 射添地区集落支援員 諏訪信彦
 香美町地域おこし協力隊 房安晋也
 【デザイン・印刷】 スタジオK1
 【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校
 村高発地域元気化プロジェクト集落調査班
 坂本就希斗・中田結子・上田遥菜・西井悠人
 地域アウトドアスポーツ類型地域創造系1~3年生

ISBN 978-4-9907829-6-2

集落魅力発信プロジェクト むらの風景

～射添 Edition～

香美町集落ガイドブック vol.3

発行 兵庫県立村岡高等学校
 監修 鳥取大学地域学部

高校生の目線で独自に歩いて集めた情報をもとに、集落の隠れた魅力を発見し、高校生の視点で作成したガイドブックvol.3です。

このガイドブックをみなさんが手に取り、訪れていただくことを楽しみにしております！

さらに、ガイドブックが射添地区に新たな人の流れを生み出し、活気あふれる地域づくりの一助になることを願っています。

もくじ

射添地区マップ 2

集落魅力紹介

32	入江	3
33	和田	5
34	境	7
35	小城	9
36	味取	11
37	山田	13
38	高津	15
39	相岡	17
40	川会	19
41	長板	21
42	熊波	23
16	和佐父	25
12	丸味	27
15	長須	29
28	原	31
21	長瀬	33

射添の暮らし、イベント、歴史 35

香美マップ 37

おわりに 38





い り え 入江

香美町村岡区入江

村岡トンネルを抜けると最初に見える集落『入江』。ここには村を挙げて行われる『きつね狩り（きつねぎゃある）』という行事があり、香美町の『無形文化財』に登録されている。



人口	113人
世帯数	54世帯
高齢化率	35.40%
主な行事	きつね狩り (きつねぎゃある)、 シリハリ、傘踊り
歴史	かつて集落は現在 地より北方の城山 の麓にあったが、 山崩れにより現地 に移転した。但馬 内屈指の観音様が ある。

集落データ (H31.4.1)

江戸から伝わる伝統

『きつね狩り（きつねぎゃある）』は、1月8日の夜10時ごろ行われ、お嫁さんに来てもらった家の結婚祝いとして千両箱を持って行き、古くからある民謡を歌う。また、それと同時に区の入りに口に御幣を立て鐘を叩きながら地区を歩き、厄払いも行われる。この厄払いでは家の電気を消して、鐘を叩いている人を見ないようにしなければ目がつぶれるという言い伝えがある。入江ならではの伝統行事をあなたも味わってはいかが。

区長の一言

伝統のある入江きつね狩り（きつねぎゃある）は、平成13年に町の「民俗文化財」の指定を受けています。現在は区の若者（消防団員）に依頼して1月8日の夜に行っています。高齢化が進み入江区の行事が減っていく中で、残さなければならぬ大切な行事です。

～地域で守り続けた伝統の綱～

和田

香美町村岡区和田



地区内を歩けば、穏やかな雰囲気を感じられる。かつてラムネ屋、薬屋、豆腐屋、雑貨屋、旅館、酒蔵などがあつた真っ直ぐな町道沿いには、整然と家屋が並び、往年の賑わいを感じさせてくれる。

時代の移り変わりとともに「子どもたちの遊び場は屋外から屋内へと変わった」と長老たちは言うが、和田の町並みは、今日も静かに子どもの帰りを見守っている。

人 口	87人
世 帯 数	37世帯
高齢化率	47.13%
主な行事	とんど（正月、節分の2回）、菖蒲綱、懇親会、子ども神輿
歴 史	かつて山陰道の宿場町として福岡・村岡と並ぶ賑わいを見せた。飲料工場、薬屋、酒造などがあつた。

集落データ (H31.4.1)

地域住民の集いの場

毎年6月5日前後の日曜日に菖蒲で綱を作り、その綱で綱引きを行っている。

その昔、今の皇大神宮がある場所には大きな池があり、龍がいると言われていた。龍は池の前を通りかかる人を次々に食べてしまう。ある時、通りかかった一人のお坊さんによって退治されたが、翌年に火事や盗難、大洪水が相次いで起こったため、これを龍の祟りと考えた。そこで、菖蒲で龍を作って祀り、池のほとりに祠を建てた。神宮に信仰が集まるにつれて、その怒りもおさまったそうだ。

菖蒲綱を作らなかった年は、多くの災難があつたとも言われている。菖蒲綱は地域の安全を守る大切なものとなっている。

また、地区の有志団体である「菖蒲会」では、菖蒲綱祭りの日にバーベキューを開催し、お年寄りから子どもまで幅広い世代の交流の場にもなっている。



区長の一言

和田裏橋から上流を眺めると、矢田川兩岸を地区とする和田の景色を一望できます。その土手沿いに、春は芝桜、秋はヒガンバナが咲いた風景も目を楽しませてくれます。山陰道の用地として以前は和田市があつたことも知られ、今でも自営の区民が比較的多く、行事では様々な技術や知恵が集まります。古くから仲間同士で生き、寄り合って暮らす精神や態度を培ってきた地区なのでしょうね。

さ か い 境

香美町村岡区境

～少ない人口で頑張る村～

射添地区の一番香住側にあるのが境。境には山の神様が2か所あり、香住と村岡の境界のところに荒御霊神社があります。また、新しい県道には『さてこ橋』がかかり、昔、境にいた「さてこさん」の名前が使われています。境地区は年間行事も多く、人口16人で毎年行われています。人口も世帯も村岡区で一番少ない境ですが、人口が少ない中でできる行事を助け合っ



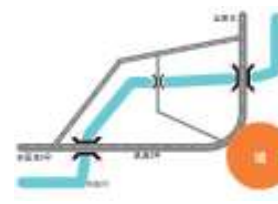
「特別なもんはない」
「特別にないのがエエんやで。普通がな」



田んぼや畑がなるい（平坦だ）から、百姓がしやすい。夏にはうなぎを捕り、秋には山芋を掘る。集落が小さく、かつ密集しているから、どんなことも全部全員です。大きく写真に載せるようなことはないけども、ここには、嫌なことがない。そんな境で営まれているのは、誰もが望む「自由な、いい生活」なのではないだろうか。「満足してる、私は！」おばちゃん笑顔が、境の魅力そのものだ。

区長の一言

境区の神社は荒御霊（アラミタマ）神社といいます。その氏神として小手子（サテコ）さんが祭られています。女性、少女守線の模範「貞婦の小手子」として、明治時代の出石藩教本にも紹介されています。一般の女性が氏神として祭られているのは大変珍しいと思います。女性の方（男性の方も）一度お参りください。



人 口	16人
世 帯 数	7世帯
高齢化率	62.50%
主な行事	伊勢参り、観音参り、バーベキュー、区内旅行、忘年会、とんど、氏神講
歴 史	建久年間（1190-99）に平家落ち武者尾崎近業が流寓したのが村の起源とされる。

集落データ（H31.4.1）

こ じ ょ う 小城

香美町村岡区小城



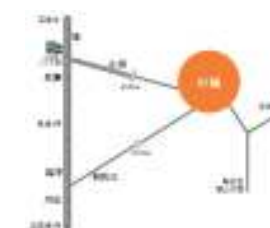
射添地区に佇む集落、小城。この集落は広く、そこには、豊かな自然が広がっているが、現在はだれも住んでおらず、家だけが残っている。子どもの進学、若者の就職などで村を離れる人が増え、残された人々は何度も相談し、利便性の高い和田地区に集団移住することになった。

そんな小城は、平家が落ちぶれて逃げ込んだ場所ともいわれており、「小城」という地名は「小さな城」があったことが由来している。

副区長の一言

不便な山奥の小さな村で、住んでいる人の結び付きが強く、皆で助け合い、同じ家族のように喜びも悲しみも分け合い、大きな不満もなく生活しておりました。

小城集落が集団移転してから35年経ちましたが、山には「小城ブナ原生林」「小城四十八滝」など、見どころはたくさんあります。ぜひ訪れて見て下さい。



小城から山田に流れている山田川には滝が多く存在する。数が多いという意味を表す「小城四十八滝」で唯一名前が付けられている滝がある。村の交差点近くにある「サナの滝」という滝で、とても深い場所にあるため滝を眺める遊歩道や案内板も整備されていない秘境の滝である。とても涼しい場所で素晴らしい景色を見ることができる。

また、集落を抜けて林道を蘇武岳方面へ走ると、見晴らしのいい場所に「小城集落眺望駅」という看板が見える。そこでは小城集落を一望することができる。

ぜひ、小城を訪れて滝の景色や小城全体の景色を楽しみ、写真に収めてほしい。

人 口	12人
世 帯 数	8世帯
高齢化率	50.00%
主な行事	盆踊り・盆まつり（現在は廃止） 村岡ダブルフルウルトラランニングでのエイド
歴 史	1984年の集団移転（和田へ）により、当地には現在誰も住んでいない。

集落データ (H31.4.1)

みどり 味取

香美町村岡区味取

～この“みどり”を守り続けよう～

鮎、うなぎがいる矢田川を挟んで東側、西側に分かれるが、味取橋でつながっている集落。夏には盆行事で帰省客も交じる盆踊り、小・中学生等の芸踊りを続けている。また、ニジマスのかみ取りや但馬牛のBBQもあり、参加者は交流を楽しんでいる。秋には秋祭りや収穫祭なども行っており、区民同士の関わりが深い。

この数十年で変わってしまったこともあるが、味取区を守り続けたいと願う区民の心は何一つ変わっていない。

区・町の行事等へ参加して、心遣い、ふれあいをする地域思いの人がたくさんいる居心地のいい集落だ。



区長の一言

日本列島が出来た頃、噴出した玄武岩の溶岩が冷えて出来た「味取の俵石」が、音無瀬という所にある味取（みどり）です。味取に住む者同士や味取で育った帰省客とその家族が一同に触れ合える盆行事や秋祭り行事を継続して行っています。ふると味取で味わった喜びを忘れないようにする集落です。



味取は、桜の花見会など四季の行事やイベントが多く、集落のみんなで楽しく過ごせる場所だ。たくさんある行事の中の一つである「秋祭り」は4つある神社すべてに神輿を担いで周る。周り終われば八幡神社から伊曾布神社まで“ささら行列”を組んで移動する。殿様を先頭に、竹や細い木で作製した“ささら”で音を出しながら進む。ささら行列は、昔、一度なくなってしまったが、もう一度復活させたいと願う区長さんの思いから、20年前に復活した行事。一昔前の雰囲気を楽しめる祭りだ。



人口	160人
世帯数	60世帯
高齢化率	46.25%
主な行事	花見、盆踊り、芸踊り、秋祭り、ささら行列、とんど、敬老会
歴史	味取俵石、伊曾布神社

集落データ (H31.4.1)



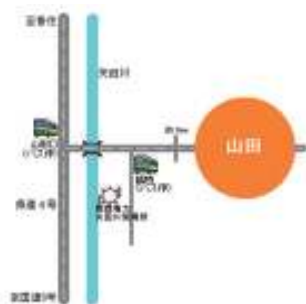
や ま だ

山田

～多種多様の滝～

香美町村岡区山田

山紫水明な渓谷の中に山田集落はある。川の音が聞こえるくらい静かな地区だが、実は一人でも安心して暮らせるほど助け合いが強く、ボランティア精神が旺盛な住民が多く、集落内がまるで家族の固い絆でつながっているような風習が残っている。



人 口	97人
世 帯 数	48世帯
高齢化率	58.76%
主な行事	道路愛護、千日参り、地蔵盆、念仏まわり

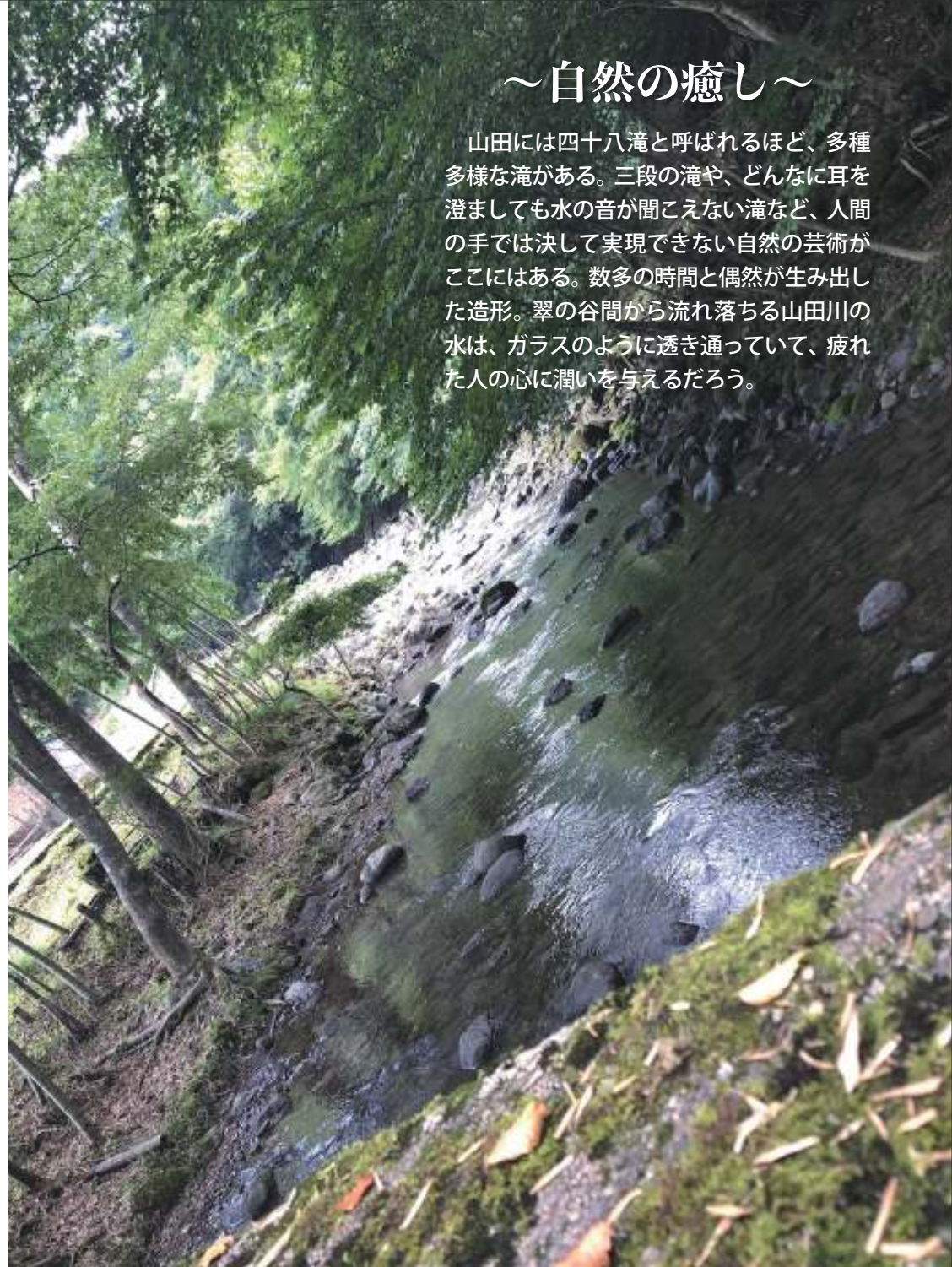
集落データ (H31.4.1)

区長の一言

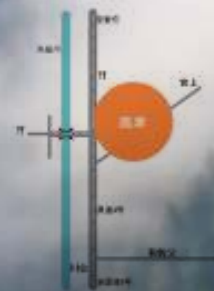
我が山田区には盆行事として2組に分かれ念仏の村回りを行っている。8月10日には村の堂に集まって「千日参り」として、ご詠歌33番まで申し上げる。8月13日には夜7時ごろ全戸門先に立てた祭壇を、帰ってきた霊を慰める意味であろう、1番ずつ申して回る。初盆の家は2番申す。8月23日の地蔵盆には辻堂に集まり、33番まで申し上げる。年配者を中心に伝統を守り続けている。

～自然の癒し～

山田には四十八滝と呼ばれるほど、多種多様な滝がある。三段の滝や、どんなに耳を澄ましても水の音が聞こえない滝など、人間の手では決して実現できない自然の芸術がここにはある。数多の時間と偶然が生み出した造形。翠の谷間から流れ落ちる山田川の水は、ガラスのように透き通っていて、疲れた人の心に潤いを与えるだろう。



た か づ 高津



香美町村岡区高津

「次は、水着着て来い!!」

私たちが高津集落にインタビューに行った際に、言われた言葉だ。清々しいくらいに、高津では矢田川を誇りに思っている。

アユ祭りは20年以上続く伝統ある行事だ。川に入ってアユやウナギを捕り、子どもたちは魚のつかみ取りをするなど区民同士の交流の場や川との触れ合いの場になっている。

人 口	134人
世 帯 数	56世帯
高齢化率	52.99%
主な行事	鮎祭り、運動会
歴 史	但馬国にしかた日記（1557）には田中彦左衛門殿をはじめ田中氏の一族が住したとある。

集落データ（H31.4.1）

高津は、アユ、カニ、ウナギ、コイなど多くの生物が生息する矢田川を中心に集落が形成されている。この集落は子どもが少なくなっているが区民の繋がりを大事にしようという思いはどこよりも強い。アユ祭り、運動会を始めとして区民旅行や盆祭りなど区民の交流の場が多くある。また、矢田川でとれるアユを使ったアユ寿司やカニだしの味噌汁は区民の自慢の料理である。一度、食べてみるのはいかがだろうか？



区長の一言

「ババジャコ会」という会があります。「ババジャコ」とは水のきれいな川に住むカジカのこと、会員親子と一緒に魚とりや山芋ほりなどを行い自然に親しんできました。子どもが少なくなつてからは、区民グラウンドゴルフ大会や盆行事等、区民の親睦を図る活動を行っていますが、地区に子どもが増えるよう願っています。

け び お か 粗岡

香美町村岡区粗岡

山奥に存在する 『天空の村』

国道9号線から少しはずれた坂の上には山々を見下ろせる景色が広がる。ここは『天空の村』と呼ばれる粗岡集落。粗岡には明治初期から現在まで続いている『芸踊り』がある。芸踊りは毎年盆踊りの余興として行われており、射添地区の他の集落とは違う音頭が用いられている。これは粗岡地区が旧二方郡（現新温泉町）に属していたからである。周りとは一味違う芸踊りを見に来てみてはどうか。



人 口	144人
世 帯 数	66世帯
高齢化率	54.86%
主な行事	芸踊り、運動会、 どんど、節句参り。
歴 史	粗岡遺跡、粗岡城、 万福寺、隠し鉾山。 秀吉軍因幡侵攻ルート。 大照山の争い。

集落データ (H31.4.1)



この粗岡には但馬に3軒しかないピザ屋の1軒の『JINEN AN』がある。この店は東京からUターンしてこられた方が経営している。粗岡は東京とは違い空気と水がきれいで自分が切った木でピザを焼くことが出来るという理由で帰ってこられた。また粗岡には現在オーストラリア出身の方も住んでおられる。粗岡なら都会では味わえない充実した生活が過ごせること間違いなし！



区長の一言

歴史学・民俗学等の研究団体である「古々路の会」の会員31名が区民約60名から区の歴史・伝統行事・農具・生活用具・住居・信仰等詳細に聞き取りをした内容の「昔風と當世風」（A4版200ページ）が当会から発行されて各戸に配布しました。



区長の一言

信仰、教育等が今も途切れることなく続いている地域ではないでしょうか。728年行基菩薩が八鹿山を開き、729年八鹿薬師寺を創建。後に川会山長楽寺を再建し現在に至る。教育では1873年（明治6年）長楽寺で学校「明倫舎」を開き、川会小学校の誕生と変遷を辿り現在の射添小学校に至る。また1947年（昭和22年）射添中学校も創立して、その校舎が2016年（平成27年）に現在の県立出石支援学校みかた校となっている。

「長楽太鼓」 「子ども芸踊り」

長楽太鼓は30歳から70歳の男性で行われている。この太鼓は第42回全国植樹祭での披露をきっかけに、現在でも継承されている奉納太鼓である。幼稚園児から中学生は『子ども芸踊り』を行う。毎年、地区の祭や町の福祉施設で演奏され、区民に元気を与えている。世代間の伝統継承が確実に行われていることが、この集落の持続の証であり、区民の強い結束力をもたらしているであろう。



川会

香美町村岡区川会

～大仏だけが魅力ではない～

長楽寺、但馬大仏に見守られる地区・川会。矢田川と湯舟川が合流する地形が地名の由来である。大仏の輝きに負けず劣らず、区民間の結束力がピカリと光る。まちを盛り上げるために、区民の男性は長楽太鼓を、子どもたちは子ども芸踊りを地域内外で披露する。一度足を運び、川会の迫力を感じてみてはどうだろうか？



人口	132人
世帯数	48世帯
高齢化率	39.39%
主な行事	子ども芸踊り、射添の盆踊り、川会の祭り、運動会。
歴史	大洪水時の山崩れ（1540）による長楽寺の倒壊と再建。松尾神社の焼失（1968）と再建。

集落データ（H31.4.1）



～江戸時代中期から伝わる 伝統行事～



区長の一言

長板区は30歳～59歳までの人口が比較的多く、青壮年のパワーを活かし、集落の活動に力を入れています。中でも、秋祭りにおいて男性だけで行う「花嫁行列」は伝統ある行事として祭りを盛り上げ、集落の活性化に大きく貢献しています。

人口	144人
世帯数	45世帯
高齢化率	43.75%
主な行事	バーベキュー、敬老会、花嫁行列、山の神様を祀る
歴史	(11月、3月) 長板城、細尾城

集落データ (H31.4.1)



ながいた 長板

香美町村岡区長板

学校の先生が多い長板集落。小代の谷に入る際に必ず通る小代口を入ると長板集落が現れる。江戸時代中期から伝わる伝統行事『花嫁行列』を毎年10月8日に行っている。男性が女装して、花嫁になり、集落を一周する。

この花嫁行列は、一度なくなってしまいました。しかし、もう一度自慢できるこの花嫁行列を復活させたいという住民の強い意志から再興し、現在も毎年10月8日になると、長板区民は仕事を休んで、この花嫁行列に集落一丸となって参加しています。五穀豊穡と子孫繁栄を祈念して行っており、花嫁になった男性が、次年度の花嫁を指名します。平成会館での婦人会による着付けも花嫁行列に欠かせない大切な役割です。

く ま な み 熊波

～老若男女、
みーんな集まれ!!～

香美町村岡区熊波



新温泉町へ向かう坂道をしばらく進むと道沿いに花壇があり、そこを曲がると熊波集落が見えてくる。

集落の入り口近くには“はす池”がある。このはす池はしゃくなげ会の方々が管理しており、毎年、7月上旬頃に花を咲かせる。また、はすの花だけでなく、ひまわりやコスモスも育てている。

花が咲かない春先には、はす池の場所をきれいに保つため牛を放牧し田を耕している珍しい光景も見ることができる。

地域の方々が大切にしているはす池を見に来てみてはいかがだろうか？心が癒されること間違いなし。



はす池は村のシンボル

区長の一言

今住んでいる人、外に出たけど熊波のことを思ってくれている人たちに、「熊波っていいなあ」と思ってもらうことが一番です。そのために、行事や交流を大切にしながら、老若男女問わず「集える熊波」を続けていきたい。



溪谷祭り



熊波集落はこの地区を盛り上げようと頑張る人たちが多く。そのためか行事がとにかく多い。花見に溪谷祭り、秋祭りに芸能祭などがあり、老若男女問わず多くの人が参加している。

その中でも溪谷祭りはだれでも参加でき、ヤマメのつかみ取りやレクリエーションなどが行われており、子ども連れの家族やお年寄りの方々、若者、すべての人が盛り上げられる祭りだ。さらに昼食には、焼き肉や焼きそばも提供されている。

熊波地区の温かさを感じることができ、一緒に楽しむことができる溪谷祭りに、家族や周りの人たちも一緒に誘って参加してみてはいかがだろうか。



人口	77人
世帯数	35世帯
高齢化率	55.84%
主な行事	神社の祭り、花見、溪谷祭り、グラウンドゴルフ、秋祭り、囲碁ボール、芸能発表大会
歴史	鉱山(金山)跡、大照山の争い、太平神社

集落データ (H31.4.1)

わ さ ぶ 和佐父

～馬蹄のような棚田を見に行こう～

香美町村岡区和佐父

～Tanada ~rice fields like horse' s roof

棚田百選の西ヶ岡田んぼがあり、棚田と長楽寺が一望できるスポットがある。昔ながらの風景に愛着を覚え、あなたの心をきっと和ませ癒してくれるはず。

お昼には、お結びとお味噌汁を持って行ってはいかがだろうか？和佐父で頂いた お米と豚汁のおいしさは今でも忘れられない！！口いっぱいに広がる、棚田米の甘さと香りをご賞味あれ！

イイ感じを合言葉に What will you do in Kami?

棚田とその風景 Tanada and the Landscape

棚田百選に選ばれた西ヶ岡の棚田。美しい棚田はもちろん、棚田から見える景色も最高!!

This is selected as one of the 100 best rice terraces in Japan by the Ministry of Agriculture. The landscape is very wonderful!

人口 35人
世帯数 13世帯
高齢化率 48.57%
主な行事 子ども会・老人会交流
歴史 秀吉の弟（異父弟）軍勢が射添を通った際、道案内をしたものが住み着いた。

集落データ (H31.4.1)

和佐父

アクセス風景
ぐねぐねの坂を上がっていくと、きれいな棚田の風景がある

区長の一言

集落の中心にある八幡神社は、イチヨウやトチノキの巨木があり、境内は古くから子供たちの格好の遊び場にもなってきた。農林水産省「日本の棚田百選」に選定された「西ヶ岡の棚田」は、大きく湾曲した形状と高い法面（畦道）が特徴。近年不耕作地が増えているが、晩秋にはサヤぼりをした大粒で良質の美方大納言小豆が出荷される。

おすすめは
6月から8月の
朝方と夕方

棚田での田植えや稲刈りの体験に参加したり、長楽寺と棚田が映る写真スポットで日本文化を象徴するような写真を撮ることができるでしょう。

You can participate in planting and harvesting. We recommend taking pictures of Tanada with the Choraku Temple. Best times are in the morning and the early evening in June and August. Imagine the tender green or ripe golden ears of the fields and the sunset or sunrise. Would you think it's most beautiful?

まる味

香美町村岡区丸味

元気の源は
よく食べ
よく笑い、
よく歩くこと



元気な方が多い丸味集落。初対面でも家族のように接してくれ、話していると自然と笑顔になれる。

そんな丸味地区では『げんき村』という活動をしている。ゆきわり大根を育てたり、「ミョウガ寿司」を作ったりと住民が協力している。また、集落内だけではなく、神戸マルシェといった地方のイベントでも活躍をしている。そして1年に2回、姫路から親子を招待し季節に合った丸味集落ならではの行事を開催している。



人口	32人
世帯数	9世帯
高齢化率	40.63%
主な行事	げんき村の活動
歴史	村祭りなど昔は行事もいくつかあったが、今はほとんどなくなってしまった

集落データ (H31.4.1)

地域で育てる未来世代

丸味げんき村の活動では、姫路などから親子を招待して、そうめん流しや山菜採りをしている。

このようなイベントを通して、参加者の子どもと地区の子どもが一緒になって活動することで、友達の輪が広がっている。また、自然に触れ合うことで、子どもの感性が豊かになるのだ。

区長の一言

丸味区には、畜産団地があり但馬牛がたくさんいます。丸味のことから、ものしり博士の森脇竹夫さんに尋ねると、何でも答えてくれます。

アクセス風景

長楽寺の道を左に行き、どんどん山に向かって上るとたくさんの牛が迎えてくれる丸味集落がある。



丸味





The place where inhabitants smile

ながす 長須

みんなの笑顔が
集まるどころ

香美町村岡区長須

区長の一言

「すぎなんばん」→漢字にするとたぶん「杉何番」です。昭和40年代、子ども達は夏休みのラジオ体操の後「杉何番」で遊びました。長須神社の東側（川側）に杉の大木が6本（現在は5本）あり、この杉を使ったかくれんぼが「すぎなんばん」です。どの杉に誰が隠れているかを当てる遊びでした。



公民館を使って行われる行事がたくさんある。例えば、地域の男性が料理を作って女性に振舞う「男の料理教室」。村カフェ。昔、長須に住んでいた方々も集めて公民館でのお泊り会など。区民の方が集まるイベントがたくさんある。長須の方に「この地区にいて一番楽しい時はどんな時ですか。」と聞くと皆さん「集まってしゃべる時が一番楽しい」と答えてくれた。この公民館は区民の方たちの憩いの場になっているのだ。



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

射添和紙の紙漉き事業

Iso Japanese Paper Making Project

冷たい水が手にかかって
気持ちがいい!
夏におすすめ!
You feel refreshed by
the cold water in summer.

一度は途絶えてしまったものの、長須区民の思いから復活したこの活動。紙漉きに使う道具を手作りしたり、原料であるトロロアオイを長須でつくったりと愛がいっぱい!

This had broken away once, but it was restored by Nagasu inhabitants' desire. By making tools, growing abelmoschus manihot, and turning it into the material by themselves, we feel their love for Iso Japanese paper strongly.

日本固有の和紙を実際に自分で作成することから、外国人観光客が日本をより濃く感じるができる!!

You can try making Japanese traditional handmade paper. I hope you'll feel Japanese culture deeply.

人口	63人
世帯数	21世帯
高齢化率	36.51%
主な行事	一軒一鉢作り、ひまわり作り、村カフェ、男の料理教室、都会の子ども田舎暮らし体験、紙漉き、ふる里長須を語る会
歴史	紙漉き

集落データ (H31.4.1)

長須

アクセス風景

県道4号線を香住に向かって進むと左手に橋がある。



はら 原

神秘的世界観の体験地

香美町村岡区原

香住へと流れる矢田川沿いに位置する原地区には、学問の神と呼ばれる菅原道真が祀られている。天満神社は1582年に建てられ、北野天満宮からご神体までが祀られ、とうかく寺、東岡寺、東仏寺が集められている。また、田んぼが広がり、農業をすることもできるため、日本の文化を肌で感じる生活を送ることができる。日本の文化に興味のある外国の方や、歴史好きの方はぜひ訪れてみてはどうだろうか。



人口	46人
世帯数	16世帯
高齢化率	44.44%
主な行事	盆踊り、秋祭り、老人会旅行
歴史	伊津神1号墳

集落データ (H31.4.1)



原地区には天満神社、薬師堂、古墳など、歴史を深く感じることができる場所がある。毎年10月25日には、黒野神社から神主が来られ、祝詞をあげる。また、もちまきをしたり、神輿を担いだりと住民が少ない中でも伝統を大切にしている。

区長の一言

「浜坂千軒・原千軒、味取が9軒に成りかけた」との口伝がある。伊津神古墳から須恵器が出土していたこと、金屑（鉾滓）がみられることから、大昔は地域の中心的集落であったと推測される。



人口	89人
世帯数	27世帯
高齢化率	34.83%
主な行事	春祭り、盆祭り、秋祭り
歴史	知見古墳

集落データ (H31.4.1)



区長の一言

巨木のある、静かで平和な村です。末永く、安心して住める村としたいので、皆様のご協力をよろしくお願いします。また、小集落としては、若者や子どもの多い村です。今後の繁栄も祈っているところです。



ながせ 長瀬

香美町村岡区長瀬

一度は見るべき村の象徴

自然がたくさんある小さな集落、長瀬。南北の谷で日当たりが少ないが夏はとても涼しく感じることができる。長瀬には木造の『但馬六拾六地藏尊』や『名木』など歴史を感じることができるスポットがたくさんある。また、年に1回観音堂で地域の人々が集まり盆踊りが行われる。春は豊作を祈る春祭り、秋は収穫を祝う秋祭りと年に2回祭りが行われ、子どもからお年寄りまで仲良く住民一人一人が村にあるものを大切にしている。



街にないものあります

田田びより

この地域には5本の巨木があり、その中のタブノキ、朴の木、杠の3本が県の名木に指定されている。長瀬の人々は古くから巨木信仰があり、今でも村の巨木は村の人々の心の拠り所となっている。

～こんな人おいで！～

巨木が多くある地域は珍しく観光客も多く訪れる。また、昔から長瀬の人々に大切にされている地域の象徴だ。

こんな価値のある巨木に興味のある人、長瀬の方と交流したい人、圧巻の自然や長瀬の良さを感じてみてはいかが？

射添のくらし

月	日	主な行事
1	1日	初詣・年始交歓会
	8日	どんど【入江、長板、熊波、川会】・キツネギアロ【入江】
	14日	キツネガリ【山田、長板】・キツネギアロ【高津】
		どんど【和佐父、高津、山田、味取、原（上地区）、相岡】
	15日	どんど焼【長瀬、原(下地区)】
	23日	二十三夜さん【長板】
	4~10日の間の日曜日	伊勢講【山田】
2	9日	どんど【熊波】
3	第一日曜日	敬老会
	9日	山の神さん【長板】
4	24日	下山神社春祭り【長瀬】
	25日	天神祭【長板】
	28日	春祭り【熊波】
	第一日曜日	道迎え【山田】
6	第一日曜日	菖蒲綱づくり【和田】
	中旬の日曜日	鯉のぼりまつり【川会】
7	第一日曜日	熊波溪谷まつり【熊波】
	15日	夏まつり【高津】
	23日	夏祭り【山田】
8	10日	千日まいり【山田】
	13日	念仏まわり【山田】
	14日	盆踊り・芸踊り【熊波、長板、高津、味取、原、相岡】
	15日	盆踊り・こども芸踊り【川会】
	23日	地藏盆【山田】
9	上旬	棚田・景観祭【和佐父】
	28日	秋祭り【入江】
10	1日	秋祭り【和田】・ささら行列【味取】
	6日	秋祭り【長瀬】
	7日	秋祭り(さかきのねりこみ、ささら行列)【高津】
	8日	秋祭り(花嫁行列・囃子込み・こども神輿)【長板】
	9日	秋祭り【熊波・山田】
	10日	秋祭り(長楽太鼓)【川会】
	15日	秋祭り【宮神】
	21日	秋祭り【相岡】
	25日	秋祭り【原】
10~11	日曜日	敬老会
11	9日	山の神さん【長板】
毎月	20日	お大師講

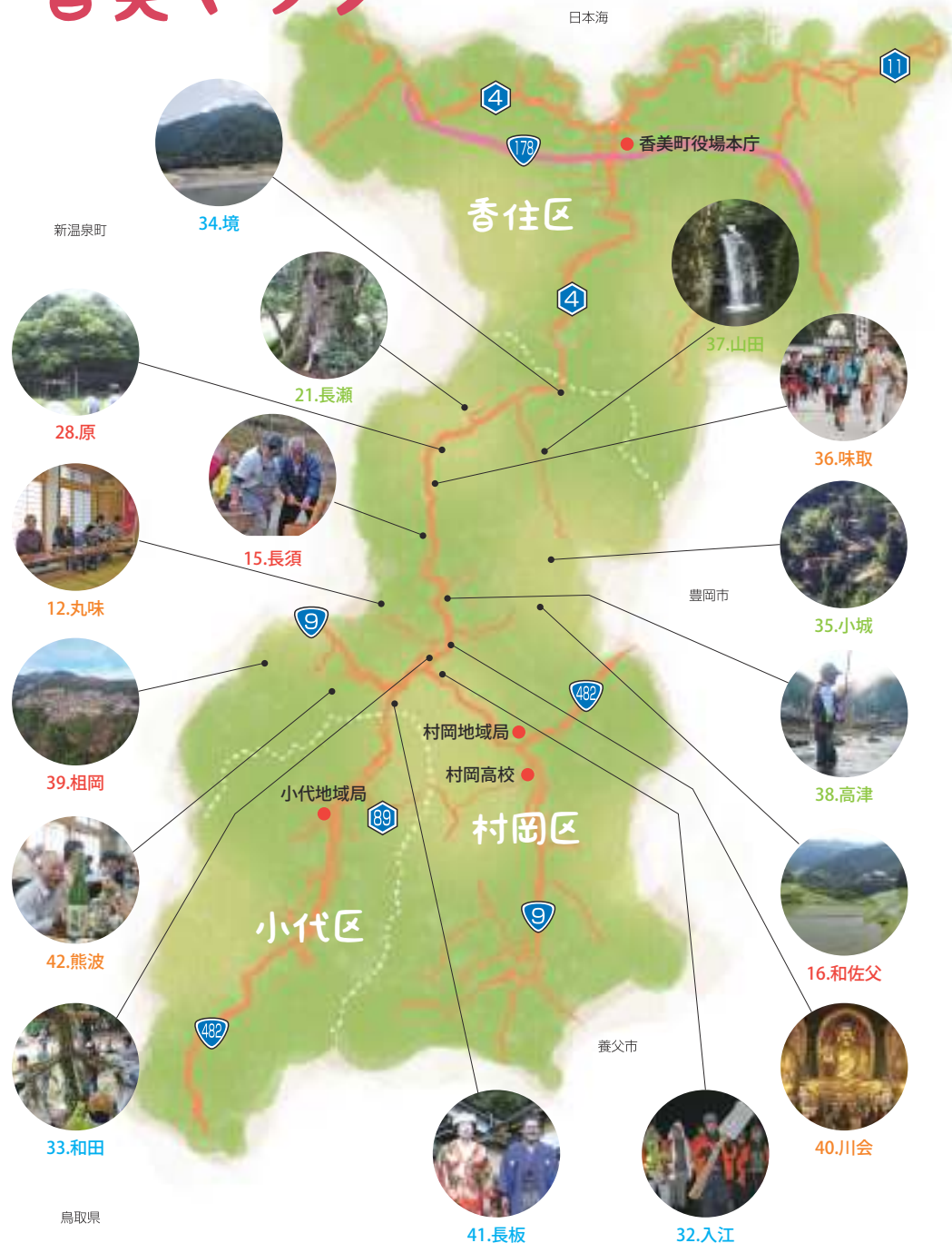
射添地区のイベント

- ・矢田川まつり (7月上旬) 道の駅あゆの里矢田川 大平公園河川敷周辺
- ・射添地区盆踊り (8月中旬) 旧射添中学校グラウンド
- ・芸踊り大会
- ・射添地区秋季大運動会 (9月上旬) 射添小学校グラウンド
- ・矢田川紅葉祭り (11月上旬) 道の駅あゆの里矢田川

射添の歴史

時代	(年)	主な出来事
縄文時代		相岡遺跡【相岡】
古墳時代		城山古墳群【長板、裏山古墳【原】、丸出古墳【丸味】、知見古墳【長瀬】
飛鳥時代		山陰道の整備、射添駅が整備される 伊曾布神社式内社となる
戦国時代	1573~93	相岡城、長板城、丸味城、山田城がつくられる 豊田秀吉の但馬侵攻
江下時代	1782~	天明の飢饉
近代	1873	長楽寺に明倫館創設
	1874	明倫館を和田小学校と改称 祖(照木小学校分校)、原、山田(和田小学校山田支校) 各小学校開校
	1875	和田尋常小学校に改称
	1876	入江、長板、川会、丸味、高津、和佐父に仮分校を置く
	1880	高津に戸長役場を置く
	1883	高津に射添組役場を置く
	1884	原校独立。山田分校は原校の支校となる
	1886	高津村外12ヶ村役場を高津に置く
	1889	市町村制がしかれて、村岡町、兎塚村、射添村となる 入江村に射添村役場を仮設
	1892	仮分校を和田尋常小学校に統合
	1903	丸味分校設立(和田尋常小学校の分校)
	1904	射添村役場新庁舎開所
	1926	川会に北但電気株式会社がつくられ、射添にはじめて電燈がついた
	1955	射添村と小代村が合併して、新しく美方町となる
	1958	入江ダムが完成した
	1961	射添地区が美方町からわかれ、村岡町に合併した
	1966	兎塚・村岡・射添の三農協が合併して、村岡町農業協同組合が生まれた
	1975	春来トンネル、バイパス開通
	1976	射添、祖、味取、山田、4小学校の名前だけを統合して、射添小学校を開校
	1977	スクールバス運行により、祖・山田両小学校校舎廃校
	1979	射添幼稚園舎完成
	1982	射添中学校新校舎竣工、山田分校を廃止
	1983	国道9号線入江バイパス完成
	1986	川会歯科診療所、診療開始
	1987	香住・村岡線、原バイパス開通
	1992	射添を考える会 発足
	1994	長楽寺大伽藍落慶法要・但馬大仏開眼法要、一般拝観開始
	1999	主要地方道香住村岡線長瀬・味取改良区共用開始、天平橋開通 和佐父区の西ケ岡が「日本の棚田百選」に選定 道の駅「あゆの里矢田川」オープン
	2005	村岡町、香住町、美方町が合併して香美町となる
	2009	射添、村岡、兎塚中学校を統合して村岡中学校を開校
	2015	出石特別支援学校みかた校 開校
	2019	射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会 発足

香美マップ



おわりに

むらへの思いを引き出す調査に

兵庫県立村岡高等学校長 大垣 喜代和



「この村には何も無い」

現地調査の聞き取りで生徒に話される住民の方が、生き生きと村の魅力を語られる調査にしたい。そういう生徒の思いからインタビューの手法を学び、前号vol.2では、地域の魅力とともに「集落調査の方法」もまとめました。今回も地域創造系の生徒全員で、人口減少が続くなか、新しいコミュニティづくりを模索する「射添地区」にスポットを当て、集落調査を行い「むらの風景vol.3」をまとめました。このガイドブックで地域の魅力が発信され、地域の皆さんが自分の村に誇りを持っていただけるようになればうれしく思います。

編集後記

兵庫県立村岡高等学校 村高発地域元気化プロジェクト 集落調査班

香美町集落ガイドブック『むらの風景Vol.3～射添Edition～』を作成するにあたって射添地区の方々をはじめ、調査・出版に携わってくださった方々に厚く感謝申し上げます。

このガイドブックは、香美町射添地区の各集落の魅力やイベントなどの様子を高校生ならではの視点で再発見し、発信しています。実際に集落に足を運び、地域住民の集落に対する想いを聞くことは、私たちにとって、とても貴重な経験となりました。また、今年度は射添地区が地域運営組織を作るといことなので、私たちが作成したガイドブックが地域運営組織の活動の一助となることを願っています。

鳥取大学地域学部地域創造コース 教授 筒井一伸

この小冊子は3冊目の『むらの風景』ですが、今回は射添地区のみの16集落の“いい感じ”が収められています。今年度だけではなくこれまでの村高生が調査をして得た情報も活かして“射添地区全集落一挙大公開”に仕上がりました。ではなぜ射添地区に絞ったのか、少しだけその経緯を記しておきます。

昨今、小学校区くらいの単位で「地域運営組織」という新しいコミュニティの設立が進んでいます。香美町でもそれに向けて動き始めました。その一番手のモデル地区が射添地区なのです。しかし地域の方々と話をしていると、同じ射添地区に住んでいても他の集落のことは意外と知らないということがわかりました。そこで村高生の感性で少し“味付け”をした射添地区内の集落の情報を紹介しようと今回の『むらの風景』は企画をしました。地域運営組織の特徴の一つとして「地域内外の人々との協働」が挙げられますがこのガイドブックをきっかけに、集落を超えて射添地区という地域内での協働はもちろんのこと、携わった村高生やこのガイドブックを手にとった地域外の人たちとの交流も促進してくれるものと期待をしております。

